

6号様式

排出量削減報告書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更				
(宛先) 京都府知事		令和6年7月22日				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)				
大阪府東大阪市御幸町2番8号		濱田プレス工藝株式会社 代表取締役 濱田 敏子 電話 072-981-5052				
主たる業種	金属プレス加工製品製造	細分類番号	2 4 5 2			
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 産業部門 <input type="checkbox"/> 業務部門 <input type="checkbox"/> 運輸部門 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択					
計画期間	令和4年4月 ~ 令和7年3月					
基本方針	環境保全活動を意識し、環境汚染の軽減・予防を推進すると共に、EMSの継続的改善を行います。					
計画を推進するための体制	ISO委員会による会議を定期的を開催することで、新たな実行計画の進捗管理を実施する。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (3)年度	第1年度 (4)年度	第2年度 (5)年度	第3年度 (6)年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	1,665.7	1,384.0	1,361.6	トン	パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0	0.0	0.0	トン	
	評価の対象となる排出の量	1,665.7 トン	1,384.0 トン	1,361.6 トン	トン	パーセント
	年度ごとの増減率(基準年度比)		-16.9 %	-18.3 %	%	
目標の根拠	太陽光発電の設置、省エネ活動の推進、無駄なエネルギーを削減することで、目標削減率4%以上の削減を目指す。					
具体的な取組及び措置の内容	1年目	太陽光発電の活用。 生産性改善取組及び不良削減活動。				
	2年目	太陽光発電の活用。 生産性改善取組及び“不良ゼロ”に向けた品質改善活動。				
	3年目					
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	LED製造・販売・据付工事業で、R5年度に309灯の照明用水銀灯のLED化を行なった。このことにより照明使用時の消費電力総量を1675,700W→27,600Wに低減。照明使用時の電力消費によるCO2の発生を83.3%削減することに寄与した。また、R4年4月～R6年3月の累計で、水銀灯656灯をLED化し、消費電力総量を356,200W→60,120W低減。照明使用時の電力消費によるCO2の発生を83.1%削減することに寄与した。					
特記事項	京都工場；京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字釜井谷21-31（宇治田原工業団地内）					

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。